

## くすのき3組 自立活動学習指導案

1 題材 「自分の気持ちを相手に伝えるために必要なスキルについて考えよう」

### 2 指導観

○ 中学校の3年間というのは将来社会に出ていくための準備の期間である。その3年間の学校生活において、よりよい人間関係を作っていくためには、相手の立場等を考えた言動が必要である。そのために、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れながら自分のコミュニケーションに係る課題を理解し、解決につなげていくための学習に取り組むことが重要である。同学年の友だちや先輩、後輩と信頼関係を構築するスキルを身につけることが、将来の自立につながっていくと考える。本単元は、他者と関わる際に自分の中で起きる緊張と折り合いをつけて、自分の気持ちを相手に伝えるためのスキルを身につけるトレーニングを行う。また、自分の気持ちを周りの友だちに伝えていくために、表情を見ること、落ち着くこと、声の大きさという3つのポイントを確認し、表情と言葉で相手に分かりやすく自分の気持ちを伝えることができるようにする。さらに、様々な考え方があることを理解し、自分の気持ちをコントロールすることが、今後の交流学級や学年全体での活動等で、充実した楽しい時間になることを実感することにつながる。

○ 本学級の2年生のAさんは、4月から本校への転入生徒である。特別支援学級での学習は落ち着いて集中して取り組むことができている。しかし、新しい環境や集団で活動するときの緊張感が強い。また、不安なことや苦手なことが多くなると気持ちのコントロールができにくくなる。その際、暴言や暴力に訴えることや、教室をとび出したりすることがある。また、友だちを求める気持ちがあるのに、緊張のために、適切に接する方法がわからなかったり、その場や環境での状況の判断が苦手であったりして自分が被害者であると勘違いをしてトラブルを起こすことも少なくない。

本人や保護者との面談において、「交流学級にいるときに周りの友だちが話していることが、自分の悪口を言われていると思って不安になってしまう」「大きな声を出して遊んでいる生徒が近くにいと、落ち着かなくなってしまう」「集団での活動のときに緊張が大きくなり、自分の思っていることが言えなくなってしまう」ということを確認している。集団での活動に不安や困り感をもっているため、特別支援学級において、まずは、不安になりそうな時に落ち着いて対応すること、次に、自分の気持ちを少しずつ伝えることができるようになることを目標にしている。

○ 本単元の指導にあたっては、気持ちをうまく伝えられていない場面とうまく伝えられている場面を動画で示し、見比べることで、自分の気持ちを伝えるためには、表情や言葉が必要だということに気づくことができるようにすることをねらいとする。そのために次の手立てをとるようにする。

・表情を見ること、落ち着くこと、声の大きさというポイントを3つ確認することで、相手に分かりやすく自分の気持ちを伝えることが意識できるようにする。

・また、学習活動において今後の学習の見通しをもたせるために、思考ツールのステップチャートを活用し、学習の流れがわかるようにする。

・さらに、学習内容の確実な定着を図るために、自分自身のロールプレイの動画を見て、活動を振り返る場を設定して自己評価を行い、できるようになったことや頑張ったことを確認し、日常生活で生かしていけるように意欲を高める場を設定する。

### 3 単元の目標

○ 学習したことを実践することで、言動や気持ちをコントロールすることができる。 (知識・技能)

○ 友だちの思いや考えを知り、違いがあっても納得する気持ちをもつことができる。

(思考力・判断力・表現力等)

○ 正解が一つだけではなく、たくさんの考え方があることを知ることができる。

(学びに向かう力・人間性等)

5 本時 令和元年11月15日(金) 第5校時 くすのき3教室において

(1) 本時の指導観

これまで自立活動の時間に、自分の気持ちをコントロールすることや、友だちとの信頼関係の構築に向けての言葉・表現などについて段階的に学習をしている。本時では、さらにスキル・アップを図るために、イラスト等を見て相手への伝わり方の違いを確認しながら、自分の気持ちを相手に正しく理解してもらえるために上手な気持ちの伝え方を考えさせる。また、具体的な場面を設定して、相手の状況を見ながら適切な表現を行うことで、信頼関係が深まっていくことに気づくことができるようにする。

(2) 本時の主眼

- ・相手に気持ちを伝えるときに、表情と言葉を使って伝えることができる。

(3) 準備

- ・学習プリント ・行動パターンカード ・iPad

(4) 展開 (ゴシック…思考ツールの活用場面)

段階	学習活動・学習内容	具体的な支援	評価の観点 (方法)
つかむ	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ</p> <p>自分の気持ちをコントロールするとはどういうことでしたか。</p> <p>・自分を理解すること ・まわりを見ること めあて</p>	<p>○ 本時の学習内容がつかめるように、スライドを使って前時の学習内容を確認する場を設定する。</p> <p>○ 活動の流れを視覚的に提示し、見通しをもって活動できるようにする。</p>	
/	<p>自分の気持ちを相手にわかりやすく伝えることができるようになる。</p>		
さぐる	<p>2 日常生活の場面を切り取って、どのように対応するか考える。</p> <p>○友だちから声をかけられた時</p> <p>(1) 気持ちが落ち着いている時</p> <p>・表情を見る ・落ち着く ・やわらかい口調</p> <p>(2) イライラしている時</p> <p>・表情を見ない ・強い口調</p> <p>(3) 何もしたくない時</p> <p>・無視する</p> <p>(4) ロールプレイの動画を見て、その対応によって相手がどう思うか考えて発表する。</p> <p>・わかったこと、わからなかったことの確認</p>	<p>○ 自分の考えが出しやすくなるように行動パターンカードを準備し、教師も一緒に考えたりすることで、自信をもって取り組むことができるようにする。</p> <p>○ 理想的な解決に向けての意見だけではなく態度についてのアドバイスを行う。</p> <p>○ 実際にロールプレイを行い、動画で撮影して解決方法を練習させる</p> <p>○ ロールプレイの時に撮影した動画を見て、振り返る活動を設定する。</p>	
/	<p>3 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>(1) 本時のまとめを行う。</p>	<p>自己内対話で目指す姿</p>	<p>・理想的な解決手段を理解することができる。</p>
見つめ直す	<p>相手に気持ちを伝えるときは、表情と言葉を意識しながら伝えることが大切である。</p> <p>(2) 意見をもとにステップチャートに状況、解決方法、結果の流れを記入する。</p> <p>・やめてと言う→言われなくなる</p> <p>・無視する→しつこく言われる</p> <p>・怒る→けんかになる</p>	<p>・自分と友だちの考えの違いについて理解し、その考えを理解していこうと思う (共感)</p> <p>○ 「今の伝え方はよかったね」と称賛することで活動に対して自信をもつことができるようにする。</p>	<p>(思)【学習プリント】</p>